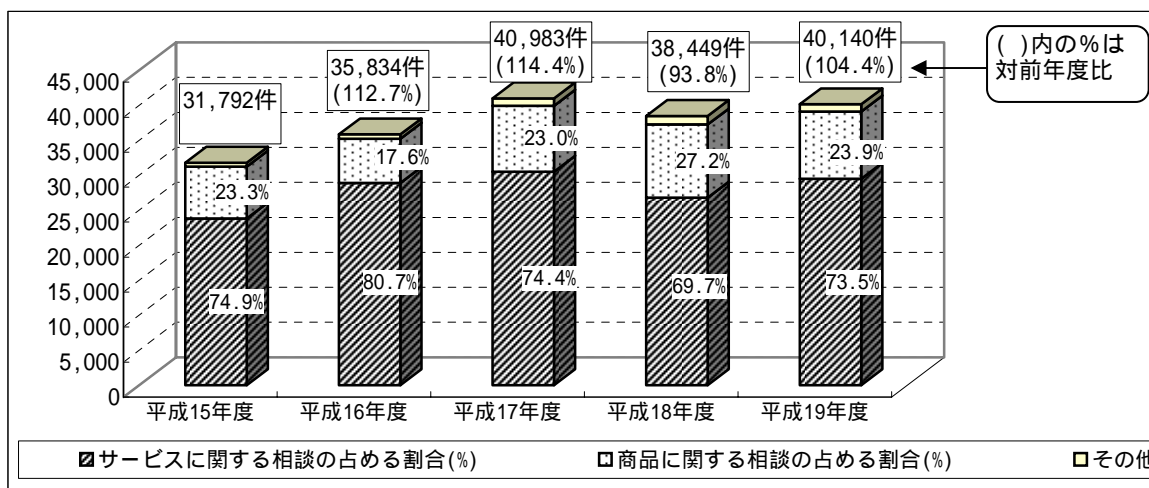


資料編

1 相談全体の概要

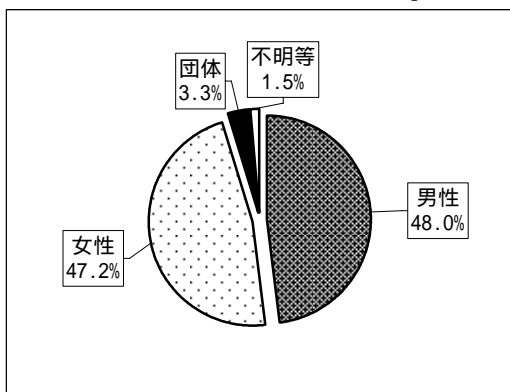
相談件数は40,140件、対前年度比4.4%の増加となり、平成17年度について4万件を超える相談が寄せられた。「サービス」に関する相談の占める割合が再び増加した(図-1)。

【図-1】相談件数の推移

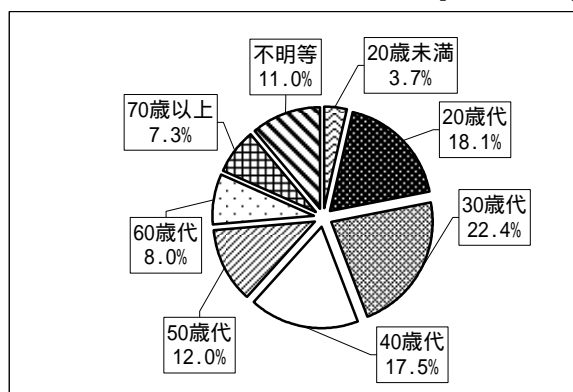


契約当事者の属性でみると、男性からの相談が若干多いものの、女性の相談件数は、前年度から大きく増加した。年代別では30歳代が最も多く22.4%を占める。前年度と比べると30~40歳代の相談が大きく増加しており、対して20歳未満と70歳以上の相談が減少した(図-2・3/表-1・2)。

【図-2】契約当事者性別割合[n=40,140]



【図-3】契約当事者年代別割合[n=40,140]



【表-1】契約当事者性別件数対前年度比

	平成18年度	平成19年度	対前年度比
男性	19,614	19,259	98.2%
女性	16,832	18,955	112.6%
団体	1,330	1,329	99.9%
不明等	673	597	88.7%
計	38,449	40,140	104.4%

【表-2】契約当事者年代別件数対前年度比

	平成18年度	平成19年度	対前年度比
20歳未満	1,551	1,485	95.7%
20歳代	7,106	7,284	102.5%
30歳代	8,492	8,972	105.7%
40歳代	6,101	7,005	114.8%
50歳代	4,689	4,813	102.6%
60歳代	3,117	3,216	103.2%
70歳以上	3,157	2,933	92.9%
不明等	4,236	4,432	104.6%
計	38,449	40,140	104.4%